

■ 市民委員会による「事業計画」への意見集約

7つの事業	実施事業の方向性	具体的事業案			
<p>育成事業</p> <p>そだてる(育成普及) ～地域文化の 足腰を強くする～</p>	<p>●文化芸術支援者・共感者(鑑賞者)の育成事業</p> <p>●アーティスト・職能の育成事業</p> <p>●次世代育成事業</p>	<p>子どもたちの芸術文化への関心を高める事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ◆ 子どもたちが本物を鑑賞できる事業 ☆ 子どもへの音楽・演技・美術などの体験・指導 ☆ 未就学児対象の催し ☆ 小中学生劇場体験 ☆ ジュニア・オーケストラ ☆ ジュニアコーラス ☆ ★ 伝統芸能の公演や継承活動(相模人形芝居下中座、民俗芸能、北条太鼓) ★ 子ども舞台教室 ★ 学校における芸術系科目のホールでの実施 ★ 子どもが気軽に立ち寄り、遊べる ★ ◆ 子ども対象ワークショップ(造形、色彩、伝統芸能、オペラ、ミュージカル) ★ 親子で楽しめる事業 ★ 音楽研究施設(学ぶ空間) ★ ◆ 音楽教室(無料) ★ ◆ マナーを教えつつホールは楽しい場所と認識させる ◆ 子ども対象のイベント(長期的に養成) ◆ 小中学生への美術教育(授業の一貫として見学会) ◆ 地域の中小高等学校との連携(出張教室) 	<p>市民が芸術文化の魅力に触れるきっかけ体験事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ★ ◆ ワークショップ(映像なども含め多彩な分野) ☆ ★ 学校や病院などへのアウトリーチ ☆ アート体験プログラム ★ 伝統芸能体験 <p>小田原ゆかりの事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 小田原著名人の学生対象ワークセミナー ◆ 二宮尊徳の教訓を継承した学習の催し <p>広く市民の芸術文化への関心を呼び覚ます事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 演奏家や演出家によるセミナー ☆ シンポジウム ☆ 一流講師によるセミナーやレクチャー ☆ プレートーク・ポストトーク ☆ ギャラリートーク ☆ キュレーターによる解説 ☆ 芸術鑑賞などのスクールプログラム ☆ バックステージツアー ★ 市民の文化に関する意識向上に向けた事業 ★ 劇場の原点であるギリシャ、シェイクスピアの解説講座 ★ 観客を育てる 	<p>舞台芸術を支える職能を学び、目指すための事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ アートマネジメント講座 ☆ ★ 舞台技術講座 ★ ◆ 人材の育成(文化活動を行う人・団体をコーディネートする人材、ファシリテーター、趣味コース、文化をささえる人材(専門家、市民)) ★ ◆ プロ育成講座(学校、育てるコース、ライセンス制度) ★ コンテスト(デザインフェスタ、POPS、新人音楽家) ★ 市民の中からプロを育てる事業 ★ 運営チームによるプロデュース公演 ◆ アートマネジメント講座の常時開催 ◆ 文化サポーターの育成と増員(若者) ◆ ボランティア育成 ◆ 小田原芸術大学の創設 ◆ 舞台技術テキストの発行 ◆ 小田原クールリスナー講座(評論の講座) ◆ ホールの技術者養成を今から始める 	<p>アーティストの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 小田原在住・出身の新進美術家の育成(制作、発表、助成金) ◆ 常設美術学校 ◆ 練習場所(ホール以外に小学校など) ◆ 市民が使いやすいシステム ◆ ミュージックカレッジ、音楽リスナー講座、舞台技術カレッジ <p>若者・学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校の部活動からの参加(ダンス部、演劇部) ◆ 大学生のボランティア(単位の対象とする) ◆ 講義、ワークショップを大学、高校の単位とする ◆ オープン 5 年後に高校演劇全国大会を小田原に招致する。(それまではレベルアップのため定期的にワークショップ→高校生が演劇を好きになる→大人になって劇団をつくる→小田原の演劇人口が増える→全国の高校生を集めてまちのPR、まちづくりに貢献) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ cafe をチャレンジショップとする(数年で独立させる)
<p>参加事業</p> <p>つくる(市民参加) ～創造の輪を拓げる～</p>	<p>●市民参加事業</p> <p>●文化芸術体験事業</p> <p>●文化芸術活動支援事業</p>	<p>市民自らが参加し、体験する舞台芸術創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 市民ミュージカル ☆ 市民オペラ(+実現のためのワークショップ) ★ えっさホイ(よさこい)の練習 ◆ 企業対抗アートフェスティバル ◆ 美術のワークショップ(実制作の場、ミニ体験) ◆ プロのオケ・ソロ+市民合唱団によるオペラ ◆ 市民参加による台本づくり <p>市民が文化や芸術に触れるきっかけ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 市民のための音楽フェスティバル ☆ 老若男女の参加者と観衆が楽しめる企画 ☆ ◆ バックステージツアー ★ 市民主体の作品展、イベント ★ 小田原食材を活用した大人の調理実習 ◆ 小田原ゆかりの事業(小田原囃子等おひろめ会) ◆ 若い人が自分もやってみたいと思う気持ちになれるような鑑賞事業 	<p>市民が文化や芸術の運営に参加・参画する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ★ ホールサポーター・ギャラリーサポーター ☆ 事業サポーター ☆ ★ チラシ・会報作成支援 ☆ 会場デコレーション ☆ 記録写真・ビデオの撮影 ☆ ★ 市民による作品解説 ☆ 市民運営委員会 ☆ 市民企画公募制度 ☆ ★ NPO 活動、市民活動サポートセンター ◆ 市民ボランティア(館内案内など) ◆ 各種会費制友の会(市民会館・演ずる側・受ける側) ◆ 友の会からの運営サポート 	<p>文化や芸術を支える職能を備える市民を育てる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ レセプションの養成 ☆ 市民企画事業 ☆ アートマネジメント講座 ☆ 舞台技術講座 ☆ 企画立案養成講座 ★ 市民の中からプロを育てる事業 ★ 運営チームによるプロデュース公演 <p>市民の意見を広く採り入れていくための事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 友の会づくり ☆ 優良事業補助制度 ☆ アンケート・意見箱の設置 ☆ 運営情報の公開 	<p>子ども対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 身近なものを使って子どものアート ◆ 定期的な子どもたちのコンサート ◆ 全市、近市の小学校・中学校を一同にした文化祭 ◆ 小田原中学合同音楽祭 <p>バリアフリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 車椅子の方が参加できるイベント ◆ 読み聞かせを録音しバリアフリー書籍・電子書籍化 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ コンセプチュアル写生コンテスト ◆ 杉本博司 ◆ ビジョン・市民参加・事業・運営の一貫性の確保 ◆ 参加者のモチベーションを高めるコンクール(ガーデンニングコンクール等)
<p>地域発信事業</p> <p>つたえる(地域特性の発信) ～小田原の魅力をつたえる～</p>	<p>●小田原の文化芸術蓄積・発信事業</p> <p>●小田原の魅力発見事業</p> <p>●地域ブランド育成・発信事業</p>	<p>小田原を題材にした事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ◆ 北原白秋、二宮尊徳など地元ゆかりの人物を題材とした事業(展示会など) ☆ 小田原ゆかりのアーティストによる催し ★ 江戸町文化 総合文化祭 ★ 小田原食材を活用した大人の調理実習 ◆ 小田原のニューブランド創造ワークショップ、商品化 ◆ 戦争体験談アーカイブ映像 ◆ 町や商店の CM づくり <p>地域の“宝”発見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 体験ワークショップ ☆ 町の歴史聞き取りワークショップ ☆ 地域の物語やおはなし作りのワークショップ ☆ ★ ◆ 伝統芸能の公演や継承活動(相模人形芝居下中座、民俗芸能、千人太鼓) ★ 失われた文化の再発掘 ◆ 町内に関心をもたせる ◆ 我が町内のお宝さがし ◆ 小田原各地区のアピールウォーク ◆ 湯河原や箱根を含めた地元ゆかりの事業 ◆ 小田原文学読み聞かせ 	<p>小田原の文化を蓄積し、発信する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ★ ◆ ホームページ、情報誌、広報紙 ☆ 公演の記録保存・アーカイブづくり(図書館機能との連携、ふるさとの映像) ☆ ★ オリジナルCD・DVD 等の制作 ☆ ホールグッズ ★ 市民活動のデータベース ★ 文化資料室 ★ 生活文化の発信 ★ ミュージアムショップ ★ 市民、学校職員のネタ集めの場所 ◆ 小田原文学堂(シナリオ化、映像化、コンテンツツーリズム) ◆ ホールの中に芸術文化発信のスタジオ ◆ ギフトショー(ビックサイト)で小田原ブランドを発信 ◆ 小田原美術誌の発行 ◆ ホール美術展の地域公民館への巡回 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ペンクラブ、文学団体の協力による「おだわらものがたり」創発 ◆ 小田原の文化的アーカイブ(ライブラリースペース) ◆ 小田原城の歴史と文化を紹介するイベント(小田原市全体のイメージアップ) ◆ 西湘地域全体での「まつり」(あしがらアートフェスティバル) ◆ 広く地域の人々を引き寄せるコンテンツの構築・発信 ◆ 史跡で「歴史に向き合う」野外展示会(ピエンナーレ) ◆ 小田原城大外郭(小学校の遠足、模型づくり) ◆ 自宅に眠っているプログラム、パンフレット等を集めた資料室 	<p>小田原の特産を活かした地域ブランド発信・育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ★ レストラン・カフェでの食文化発信など(出会うコミュニティカフェ、地産地消カフェなど) ★ 小田原物産(小田原風鈴、ちょうちん、いもの、箱根細工 小田原彫り、小田原ブランドとしての芸術文化マーケット) ◆ 新しい時代の小田原らしさ創造、小田原ブランド展 ◆ 大ホールの室の壁はなるべく木材を多くして

7つの事業	実施事業の方向性	具体的事業案			
<p>交流事業</p> <p>出会う(交流促進) ～共感のよろこび～</p>	<p>●交流促進事業</p> <p>●連携事業(既存施設、広域等)</p> <p>●コミュニティ活性化事業</p>	<p>芸術文化による交流促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ オペラやミュージカルなど総合芸術事業 ☆ フェスティバルの開催 ◆ 小田原国際音楽祭 <p>異分野交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 異なる分野で活動する文化団体のコラボレーション ☆ 多くの市民や複数の団体の参加を募れる催し ☆ 他分野でのワークショップ ★ 作家との交流 ★ ◆ジャンル横断のコラボレーション(絵画+歌・音楽) ★ アートと認識されにくいジャンル(花火、よさこい(えっさホイ)、メディア、コンテンポラリーダンス、千人太鼓) ◆ 市民サークルのグループ展 ◆ 笑いの効用を紹介するためのホールを活用 	<p>人と人との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ アーティスト登録紹介制度 ☆ 芸術家との人的なネットワークづくり ★ 文化活動を行う人・団体をコーディネートする人材の育成 ★ レストラン・カフェでの食文化発信など(出会うコミュニティカフェ、地産地消カフェなど) ★ 憩いの広場 ◆ 林英哲(太鼓)盆踊り大会 ◆ 友だちが増えるイベント(子ども間交流) ◆ 対象を絞るのではなく大人も子どもも一緒に過ごせるワークショップや発表会 ◆ 地域の老若男女が集結し各々の特技で親睦・交流 ◆ 楽しみ・生きがいづくり ◆ 文化フォーラム ◆ 人を讃えることから新たな小田原文化の創造を 	<p>小田原市を越えた広域連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 他館との共同制作による新しい創造活動 ☆ 広域圏の文化施設との連携(小田原の周りの美術館、箱根、湯原原既存の活用) ☆ 芸術大学などとの連携 ★ 市内での連携(既存施設、活動団体など) ★ ホールと名建築のコラボ(古稀庵、清閑亭、文学館、老樺社、松永記念館) ◆ 城山又は久野ミュージアム・トレインの設立 	<p>小田原をテーマに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 小田原在住文化人リレートーク週間 ◆ 小田原の民話・伝承遊び・わらべ歌などを舞台発表の場を使って残す ◆ 小田原を知るきっかけづくり ◆ 自治会対抗芸能大会(一位に市より交付金) ◆ 小田原提携アートフェスタ、野外アート+造園+環境美学+ランドスケープ <p>施設間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 全館交流フェスティバル ◆ 市内ギャラリーの共同展 ◆ 既存施設(松永、清閑亭、文学館)との美術展ネットワーク ◆ 各種巡回展(地方・国・県) ◆ 小田原の文化活動の全てを集約した情報発信基地(情報センター、アーカイブ、ライブラリー機能)
<p>鑑賞事業</p> <p>たのしむ(質の高い催し) ～創造性を刺激する～</p>	<p>●優れた文化芸術鑑賞事業</p> <p>●小田原ゆかりの鑑賞事業</p> <p>●文化芸術作品創造事業</p>	<p>優れた芸術文化を鑑賞する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ★ 質の高い招へい事業(コンサート・歌舞伎・バレエ・ミュージカル・オペラ・ガラコンサート等) ☆ 美術作品などの鑑賞機会の提供 ☆ プロデューサーやアドバイザーによる監修・制作の公演 ☆ 他都市の公立文化施設などで制作される良質な催しの招へい ★ テント公演 ★ 映画(映画祭、16mm、バリアフリー、ロードショーに掛からない良品) ★ アコースティックコンサート ★ バリアフリー ★ 全国規模の展覧会(写真、公募展、現代アート、アンデパンダン展など) ★ TVの公開番組、収録 ★ 映像を活用した作品 ◆ 兄弟館での巡回公演・巡回展 	<p>小田原ゆかりの鑑賞事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ★ 小田原ゆかりのアーティスト・文化人(地元演奏家、大藤信郎、川崎、尾崎、首藤、北原白秋) ☆ ★ 伝統芸能の公演や継承活動(相模人形芝居下中座、民俗芸能) ★ ガンブラジオラマ風、ガンダムでの興し ★ 小田原鉄道文化祭 ★ 星空コンサート ★ ◆ 小田原ならではのコンサート(御幸の浜ビーチコンサート、自然素材だけのコンサート・アート) ★ 小田原ならではのシチュエーション(銅門、梅林、浜)での映画上映 ◆ 小田原出身者の事業(藍坊主の凱旋ライブ) ◆ 県知事と共催で名曲50～100選(地元文化の発展) 	<p>子ども対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ◆ 子どもたちが本物を鑑賞できる事業 ◆ 楽器を楽しむ子ども向けの音楽会 ◆ 音楽、演劇の鑑賞の仕方を学ぶワークショップ ◆ 子供向けアウトリーチ ◆ 定期的な子どもたちのコンサート ◆ 身近なものを使って子どものアート作り <p>フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地元のプロの音楽家達による音楽祭 <p>伝統芸能</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 定期的な寄席 ◆ 歌舞伎(首我物) 	<p>映画</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 定期的な上映 ◆ シネマトーク的展開 ◆ 天幕上映会 ◆ テーマを設定した上映会 <p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民演奏団体の質の向上をはかる企画 <p>野外等利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 前庭での野外コンサート <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 専門委員の方々が関わるイベントの出張公演 ◆ 劇場・音楽堂事業に偏らないように ◆ 30～40代が興味を持つ事業 ◆ ビジョン・市民参加・事業・運営の一貫性の確保 ◆ 車椅子の方が参加できるイベント(音楽など)
<p>にぎわい創出事業</p> <p>にぎわう(にぎわい創出) ～催し物がなくても立ち寄れる～</p>	<p>●ロビー・ホワイエ等施設活用事業</p> <p>●地域活性化事業</p>	<p>市民ホールにぎわい創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 展示系事業 ★ 日常的な事業 ◆ アートフェス ◆ ふるさと大使のホールイベント参加 <p>気軽に立寄り、楽しめる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ オープンロビーでのコンサートや展示 ☆ ★ ランチタイム・サロン・モーニング・ティータイム・アフタヌーンタイム・イブニングタイムなどのコンサート ☆ 前庭や路上コンサートやパフォーマンス ★ レセプション ★ 子ども達が体を動かして遊びながら楽しめるもの(工作・ダンス・コーラス・劇) 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 市民文化祭・映画祭・文化祭 ★ ◆ 子どもにとって特別な場所ではないホール(例:小田原メダカをホール周辺の子供達に育ててもらおう) ◆ 子どもの遊び場・溜まり場 ◆ 各種フェスティバルや大会(ガンダムフェス・ジオラマ展、ジオラマワークショップ、シンポジウム、原画展、イラスト展、クイズ大会、小田原コミケ、ゆるーい歴史のお祭り、ゲーム大会 コンテンツ事業、若者むけのオタク文化(アニメ、まんが、コスプレ等)のイベント) ◆ ミュージックストリートの開催回数を増やす ◆ 外部のオープンスペースでのオープンエア美術展 ◆ 芸術目的でなくても安価かつ気楽に利用できるスペース・席 	<p>まちににぎわいを生み出す事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ◆ 地場産などのフリーマーケット ☆ ★ ◆ 周辺飲食店・商店街との連携(食・大道芸) ☆ 観光情報や芸術文化情報の提供 ☆ お城周辺での催しと連携 ★ 季節イベント(ハロウィーンパーティー、クリスマスパーティー) ★ 町全体でにぎわいを(町内会対抗コンサート+一流アーティスト、すべてのバンド集合、小田原おじさん(ロカビリーフォーク etc 大集合、商工祭、ちょうちん祭の復活) ★ 商店街マッピング ★ 若手アーティストが常に集うオープンスペース ★ 外から見えるギャラリー 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ アートマート、夜市 ◆ アートフェス(今ある物にプラスし、空き店舗の利用や小田原以外の作家、企業、映像 etc) ◆ 酒博 ◆ 小田原城下町ランウェイ ◆ 「まつり」との連携(市内にたくさんある「まつり」を整理して、発進力ある事業にまとめる) ◆ 小田原の良い食材を使ったカフェやレストラン ◆ ホール、お堀端通り、二の丸広場一体型の空間を楽しめる催し <p>仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ まちなかつなぎの仕組み ◆ 回遊ルート
<p>施設提供事業</p> <p>ひろげる(利用促進) ～稼働率の高い施設～</p>	<p>●市民活動支援事業</p> <p>●情報発信事業</p>	<p>市民ホール利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 提携・共催事業を含めたラインナップづくり ☆ 事業誘致、施設の積極的な貸出事業 ☆ ホールセールス ☆ フェスティバルの開催 ★ 稼働率を高く ★ 練習室、スタジオ併設(バンド、ダンスなど) ★ 市民参加 小ホール機能の充実 ◆ 現行事業の新施設利用(キャンパス小田原の事業等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現行事業の分散実施(市民文化祭を春・秋に分ける) ◆ 小田原の公共施設での年1回以上のイベント義務化 ◆ ライブレコーディングが可能なホール(良質の音響環境とハードの充実) <p>サービス・ホスピタリティ提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 質の高い施設管理 ☆ 利用相談 ☆ コンシェルジュ機能 ☆ インターネット施設予約 ★ 若者が24時間使える空間 	<p>市民への定期情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 市民ホール整備の動きのプロモーション ★ 高齢者へのPR・活用 <p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 採算の合う使用料 ◆ 利用しやすい使用料 ◆ 入場料の割引(年少者、高齢者、障がい者) ◆ ネーミングライツ ◆ 市民ホールキャラによるコンテンツビジネス 	<p>運営規則</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民の優先利用(料金・予約) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民ホールに集まる人の行動・経済力の分析 ◆ 観光的な要素(小田原のツーリズム戦略の問題) ◆ 生涯学習センターや公民館との違い(法的制約) ◆ けやき(教える・学ぶ)との関連 ◆ 室・月・曜日ごとの稼働率の表示